

平成 30 年（2018 年）の青ヶ島の火山活動

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

噴火警報・予報の状況、2018 年の発表履歴

5 月 30 日 14 時 00 分	噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）を発表（噴火警戒レベルの運用開始）
--------------------	--

2018 年の活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1、図 2）

手取山監視カメラ及び尾山展望公園監視カメラ（ともに丸山の北北西約 1 km）による観測では、丸山西斜面に噴気は認められません。

・地震や微動の発生状況（図 3 - ）

青ヶ島付近を震源とする火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しています。火山性微動は観測されていません。

・地殻変動の状況（図 3 - 、図 4）

GNSS¹⁾連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



図 1 青ヶ島 丸山西斜面の状況（12 月 8 日、手取山監視カメラによる）

この資料は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び東京都のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

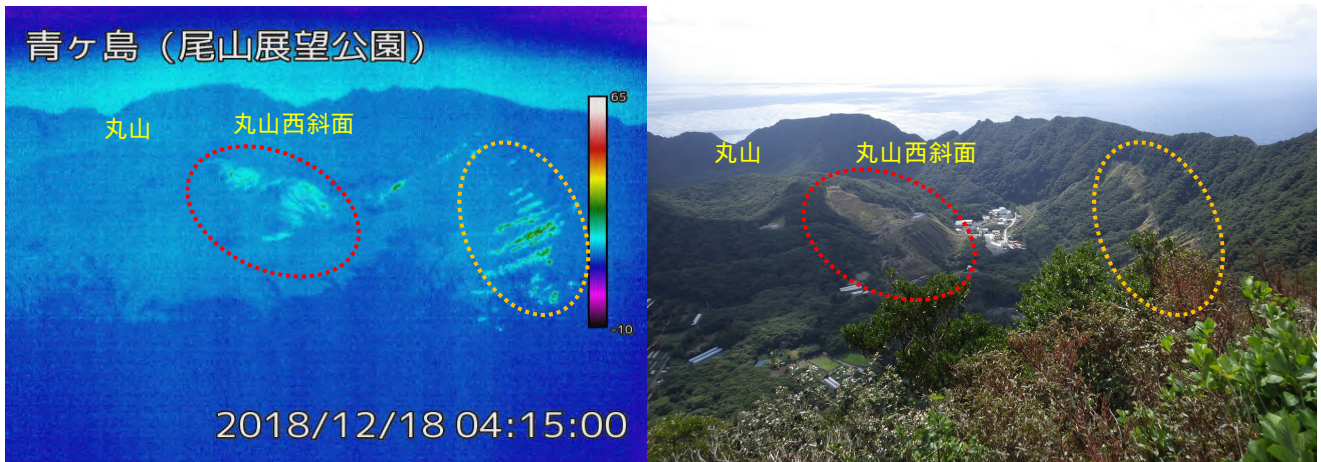


図 2 青ヶ島 カルデラ内の地表面温度²⁾の状況(左:12月18日 尾山展望公園監視カメラによる、右:2016年3月15日に撮影した同場所からの写真)

・地熱活動に変化は認められません。

2) 赤外熱映像装置により観測しています。赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感じて温度を測定する測器で、熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の温度よりも低く測定される場合があります。

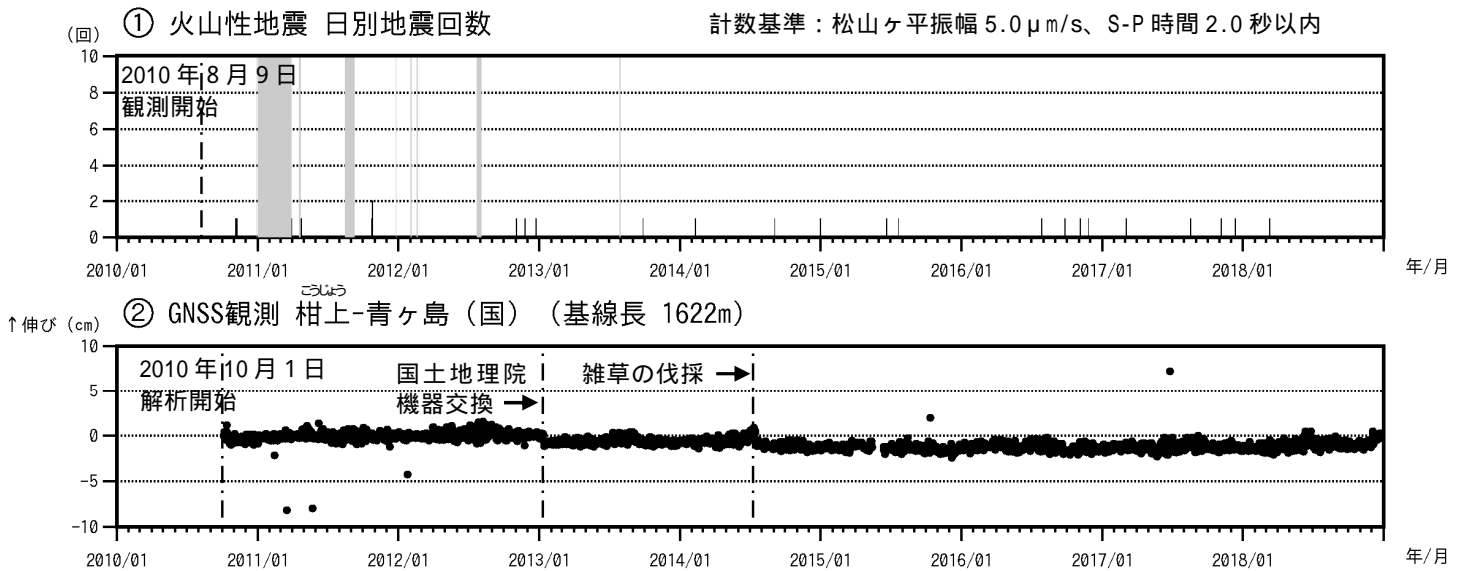
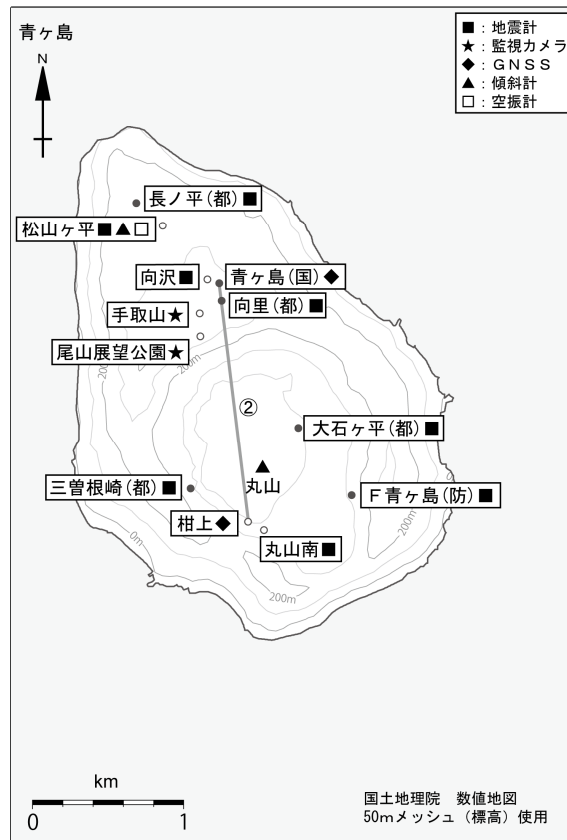


図 3 青ヶ島 火山活動経過図(2010年8月9日~2018年12月31日)

グラフの灰色部分は機器障害による欠測を示します。

(国): 国土地理院、図 4 の GNSS 基線 に対応。グラフの空白部分は欠測を示します。



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (国) : 国土地理院、(都) : 東京都、(防) : 防災科学技術研究所

図 4 青ヶ島 観測点配置図
 GNSS 基線は図 3 の に対応しています。

表 1 青ヶ島 気象庁の観測点一覧

測器種類	地点名	位置			設置高 (m)	観測開始日	備考
		緯度	経度	標高(m)			
地震計	松山ヶ平	32° 28.02′	139° 45.64′	273	-82	2010. 8. 9	
	向沢	32° 27.82′	139° 45.83′	336	0	2012. 7. 3	
	丸山南	32° 26.92′	139° 46.07′	87	-1	2016.12. 1	広帯域地震計
傾斜計	松山ヶ平	32° 28.02′	139° 45.64′	273	-82	2011.4.1	
空振計	松山ヶ平	32° 28.02′	139° 45.64′	273	2	2010. 8. 9	
GNSS	柑上	32° 26.95′	139° 46.00′	94	3	2010.10.1	
監視カメラ	手取山	32° 27.67′	139° 45.84′	395	4	2010. 4. 1	
	尾山展望公園	32° 27.63′	139° 45.78′	393	3	2016.12. 1	熱映像